



<京北FBL> 2013・2014

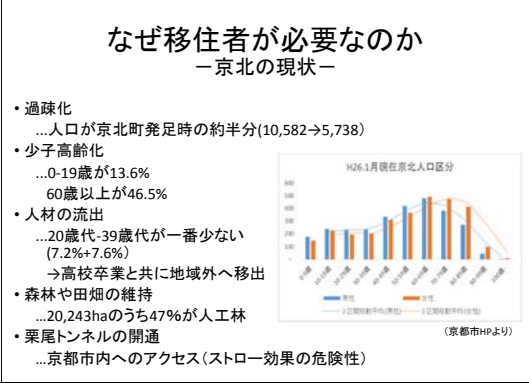
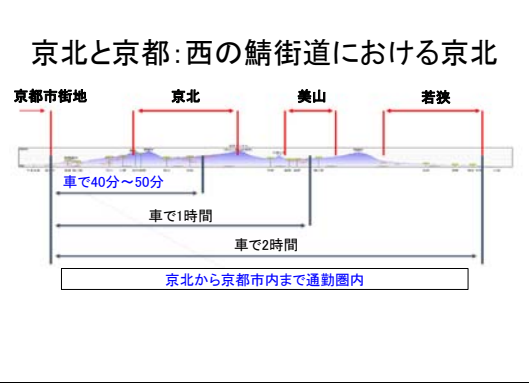
集落エリアにおける新たな居住のデザイン

京都市右京区・京北地区

Designing Contemporary Residence in Rural Areas — Keihoku, Kyoto

実施責任者: 神吉紀世子¹、十河卓司²
 実施協力者: NPO法人京北コミュニティビジネス、京都府立ゼミナールハウス、
 京北自治振興会、京北森林組合 ほか
 参加者: [2013年度後期] 市村賢士郎³、藤田弥世³、小山実苗¹、堀友彌⁴
 [2014年度後期] 阿部将和⁴、加登遼¹、藤野正寛³

- 1: 京都大学大学院工学研究科建築学専攻
- 2: 京都大学デザイン学ユニット
- 3: 京都大学大学院教育学研究科
- 4: 京都大学大学院情報学研究所



なぜ移住者が必要なのか

— 地元住民の思い —

共通しているのは「ふるさとを残したい」という思い

- 具体的なビジョンは不明確
- 自分の手の届く範囲は変わらないという思い
 - 「手の届く範囲」の定義は人によってさまざま
 - ex) 田畑・農産物・山・材木・家・学校・川

「何を」「どこまで変えても良いのか」は、実際に移住者とのインタラクションの中で住民が気付くこと

多角的な視点から、様々な移住者を呼び込む必要性

移住者獲得のための提案

— 従来の方法 —

移住者の誰もが言うのが、「ご縁があって...」

- 知り合いのつて
- 飛び込みでカモノソログ
- どこかのタイミングで京北の人が絡む

移住者のセレクションをするのであれば、京北の人は必ず関与する必要がある

誰が移住者セレクションを行うのか？
情報はクローズのままでよいのか？

移住者獲得のための提案

— 地域連携の重要性 —

- 新しい土地に来る人にとって、不安はとても大きい
 - **ソーシャルサポート**の重要性
 - 地域への順応やサポート方法は個人差があるため、ガイドラインを作成したりすることは無理
 - ただし、ちやほやしすぎて人によっては×...「**見守る**」姿勢を大事に(参考: 異文化への順応は神経レベル→行動レベルで平均2.4年)
- 個々人でプレーするのではなく、行政も含めた京北全体で移住者獲得の意識を共有し、全体的に行動することで、地域住民間での葛藤の発生を防ぐ
 - 集散的無知の撤廃
 - 目標は... × 「移住者獲得」
 - 「京北という故郷を守る」
 - ただし、先導者は必要

移住者獲得のための提案

— 具体策、暮らし体験 —

- 意義
 - 実際に京北で生活することで、京北に住めるかを判断してもら
- 必要なもの
 - 空き家、家財道具(どの程度まで用意するかは要相談)
 - ※ ハード面は基本的に無償提供、生活費は実費
- 期間
 - 体験希望者との相談により決定
- 対象
 - 田舎への移住を検討している人
- 体験中にできること
 - 必要ならには住まいや仕事相談&あつせん・京北の見どころ紹介
 - 体験者全員に地元住民との懇親会
 - 井本さんと河原林さんのイベントへの参加

体験希望者がどの程度負担する必要があるかは事前相談が必要
相談窓口は1か所に絞る

移住者獲得のための提案

— 具体策、京北体験 —

- 意義
 - 京北の雰囲気を感じだけでも感じてもらう、どちらかというと旅好きの人向け
- 形態
 - とほ宿 (<http://www.toho.net/>) 仕様
 - 男女別相部屋で部屋を有効活用、低価格、コミュニケーション重視
- 場所
 - 駐車場付きの空き家
 - できればアスファルト地面で屋根付き
- 対象
 - 旅人
- メリット
 - リピート率がかなり高い
 - コミュニケーションを前提としている宿なので移住への勧誘もしやすい

移住者受け入れ活動の位置付け

新規移住者の方の視点から京北の可能性を探る

① **新規移住者の分類⇒ターゲットをどこに絞る？**

| 目的 | 子どもなし | 子どもあり |
|-------|----------|----------|
| 居住 | 会社員、主婦など | |
| 居住+生業 | 共有財産*不要 | アーティストなど |
| | 共有財産*必要 | 農家、林業家など |

* 共有財産: 田畑、山、土地、etc.

② **「テンションの高い」人たちに集まってもらいたい**
 ⇒ **ターゲット: 京都市内在住+子どものいる家族**

FBL主催 2015取り組み案: 1泊2日のロゲイニング

1日目: 学びの時間

- 地図の読みかた・コンパスの使い方・時速計算
- どうやって回る? 何で移動する? 所用時間は?
- 京北にいる動植物の話
 - 何が食べれる? どんな匂いがする? どこに潜んでる?
 - 何が落ちてくる?
- 戦略のたて方
- 地元の子どもたちにも参加してもらいたい!
- 晩御飯は京北の野菜。素材を活かした料理。

2日目: いざ出発!

- 知らない間に「今この瞬間」を楽しむ
- 知らない間に京北の良さを感じる
- お弁当は京北の野菜。素材を活かした料理

得点①: 場所の写真

京北の良さを写真に閉じ込めてもらいます
 ⇒ 距離・高度・難易度が得点化

<https://keihoku.wordpress.com>

得点②: 動植物の写真

目的だけではなく道中に目を向けて欲しい
 ⇒ レア度が得点化(熊は0点)

<https://keihoku.wordpress.com>

それ以上: 宝ものさがし

得点なんて関係ない! 落ちてるものは宝もの!
 ⇒ もう得点のことは忘れちゃって欲しい!

Lagado研究所: <http://lagado.jp>

アフターパーティー: フォトコンテスト

フォトコンテスト in ウッディー京北

- ロゲイニング参加者の写真を活用
- 開催時期(大会: 初夏→コンテスト: 秋)

目的

- もう一度京北にきて欲しい
- 京北の良い所がどんどん集まる
- 京北の人々に京北の良さを知って欲しい

アフターパーティー: 宝箱づくり

ベースとなるものの質の高さとセンスの良さ
 ⇒ 北山杉の活用

モノネ工房: <http://www.maane-moon.com>

アフターパーティー: 宝箱づくり

北山杉をベースにした自分だけの宝箱

⇒ 京北の体験が宝物に閉じ込められる